



各 位

2025 年 9 月 22 日

会 社 名 株式会社モンスターラボ
代表者名 代表取締役社長 鮎川 宏樹
(コード：5255、グロース市場)
問合せ先 C F O 鈴木 澄人
(T E L. 03-4455-7243)

BVC LATAM IMPACT Fund への出資に関するお知らせ

当社は、2025 年 9 月 22 日開催の取締役会において、ラテンアメリカ地域の成長企業に投資する「BVC LATAM IMPACT Fund」への出資を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件は金融商品取引所が定める適時開示基準には該当いたしません。

1. 出資の目的と背景

当社は「AI を軸とした高付加価値ソリューションの提供」と「グローバルデリバリー体制の強化」を成長戦略の柱としております。

現在、日本を含むアジア、北米および南米を含むグローバルな事業展開をしておりますが、今後は成長余地の大きい新興市場へのアクセスをさらに強化し、将来の競争優位性を確立することを目指しています。

ラテンアメリカ市場は、以下の特性を持ち、今後もデジタル需要の拡大が見込まれる地域です。

- 人口 6.6 億人・都市化率 82%と先進国並みの市場基盤
- 一人当たり GDP は約 1 万米ドルと新興国の中では比較的高水準
- 北米からの豊富な投資流入により、健全なベンチャー投資のエコシステムが整備済み

2. 出資先ファンドの概要

(1) 名称	BVC LATAM IMPACT Fund
(2) 出資先形態	米国デラウェア州に設立された Limited Partnership (LP 出資)
(3) 運営者	BVC (B Venture Capital)
(4) 投資対象	ラテンアメリカ地域（ブラジル中心）のスタートアップ
(5) 投資件数	新規 20～30 社、フォローオン 6～8 社

3. 本出資の意義

a. 成長戦略との連続性

- 当社の重点領域である AI、デジタル化支援に直結するスタートアップとの協業機会を獲得する。
- 当社がサービスを展開している北米との距離的優位性を活かしたサービス提供を強化する。

b. 戦略的シナジーの創出

- 投資先企業との PoC を通じ、新規ソリューションを顧客向けに実証・展開する。
- 投資先企業の日本・アジア市場への展開支援、グローバルクライアントへの紹介など、具体的な事業シナジーが期待できる。
- スタートアップとのオープンイノベーション活動により、新たなテクノロジーケイパビリティを獲得する
- 将来的に、スタートアップへの直接投資、資本業務提携などをする場合のマーケット知見を獲得する

c. 財務的意義

- BVC はこれまでのファンド運営において、グローバルの有力 VC と比較しても優れた成果を積み上げている。
- 本出資によって財務的に魅力的なリターンを期待しつつ、日本・アジア中心のポートフォリオに地理的分散効果をもたらす。
- 出資金額は総資産の 0.5%未満であり、財務への影響は限定的。

4. 今後の見通し

本件が 2025 年 12 月期の業績に与える影響は軽微です。

今後は投資先スタートアップとの PoC 開始や人材交流を短期的な成果とし、中期的には当社のソリューション強化・グローバル顧客案件への活用につなげてまいります。

今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上